

# 別所沼公園

○所在地

〒336-0021

さいたま市南区別所4-12-10



## ④長谷川かな女 句碑

昭和36年4月 建立 昭和3年当時の浦和町に移り 住み、「水明」という俳句の会をつくりました。



## ⑤掛けた女

彫刻家 中野四郎氏が1960年 第9回創型会展出作品。材質：セメント



## ⑥鬱金桜 (ウコンザクラ)

オシマザクラを母種とする園芸品種のサトザクラで、珍しい淡黄緑色の八重の花をつけ、比較的長く楽しめます。



## ①風の神

健康・豊作及び知恵を市民にもたらす恵みの神 昭和55年にメキシコ州と埼玉県との姉妹提携 1周年記念として贈呈されました。像は、メキシコ州トルカ盆地にあるカリストラクカで発掘された石像を複製したものです。



## ②慰霊碑

昭和61年7月 建立 被爆40周年を迎え犠牲となった県の死没者の霊を慰め、二度と被爆者をださないという県民の核廃滅の決意を後世に伝えるために建てられました。



## ③神保光太郎 詩碑

昭和10年別所沼湖畔に住まいを移し詩壇で活躍を続けたのちに、勲三等瑞宝章を受賞しました。ゲーテ、トルストイなど、多数翻訳、市歌・校歌・社歌など300以上作詩をし、詩壇だけではなく、日本文壇等にも影響を与えました。昔を想い、沼をうたった句です。



## ⑧鈴木幸輔 歌碑

平成22年4月 建立 昭和18年当時の浦和市元町に移り住み、長風短歌会を設立。歌誌「長風」を創刊しました。



## ○公園のあゆみ

別所沼ができたのは、およそ100万年前、関東ローム層でも一番下の地層（沖積層）、大宮台地の侵食した谷から湧き出した水が低地に溜って出来たと考えられています。

昭和の初めに小島長治郎氏が、名所としての遊覧地づくりに別所沼一帯の土地を借り受け開発し、沼を掘り、島を作り、弁財天をまつり池の周囲に桜を植え昭和園と名づけました。

その後、戦中・戦後と荒れていたが、昭和28年に浦和市（さいたま市）で整備に着手し、昭和31年に全面的に県施行に移され、護岸工事や県立美術館（公園管理事務所）が建てられ、メタセコイアの移植等公園の整備が進み、現在は、さいたま市に管理が移譲され、（公財）さいたま市公園緑地協会が指定管理者として管理しています。



### ⑦ヒアシンスハウス

詩人・立原道造が構想してから65年がすぎ、別所沼周辺の芸術家たちの交友の証として<ヒアシンスハウス>が市民の手により、実現することとなりました。



### ⑧竜舌蘭（リュウゼツラン）

アメリカ・メキシコを原産とする常緑多年草50年に1度、生涯で1回の開花と言われた大変貴重なものです。

## 別所沼公園

水と緑と広場が調和した憩いの空間

